



農業委員になり、一年があつという間に過ぎてしまいました。お役に立っているのだろうかと自問するこの頃です。

今年には経験したことの無い酷暑!! そうかと思えば盆過ぎの急激な気温の低下。年寄りのいる我が家では、真夏の八月、何日こたつのお世話になったことか、とても考えられない夏でした。

そんな中、7月16日、伊王野公民館と共催で、高齢者教養講座に参加させていただき、台風並みの悪天候の中、「笑食!牛乳を食べよう!」と銘打って、食育を兼ねた交流会を開催させていただきました。蓑沢基幹集落センターに福寿会の皆さん35

名、農業委員や事務局等、総勢45名の参加があり、健康的な農村生活を送るための講座と牛乳消費拡大のための試食会ということで、女性農業委員がメニューを考え、男性農業委員や事務局職員とともに調理しました。

牛乳に酢を加えるだけでできるチーズを参加者に見ていただきながら作り、できたてアツアツのチーズをわさび醤油で試食していただきました。「昔食べたことあるなあ。」という方もいらつしました。その他のメニューは次のとおりです。

● チーズを作った時の副産物のホエーで作る「地元野菜たっぷりホエースープ」

● 夏にぴったり「さわやか混ぜ寿司」

● 「ほうれん草のはんぺん巻」

● 「新鮮チーズのフレッシュサラダ」

● 具がたっぷり昔懐かしい「おやき」

男性陣の手際の良さに感心させられながら和気藹々の中あつという間にご馳走がテーブルに並べられました。

お待ちかねの試食タイム。大島委員による牛乳が栄養のデパートと呼ばれる訳や池澤委員による長生きの秘訣など、アハハ、オホホととても和やかで楽しい講座を終えることができました。

少しでも健康で、楽しく、長生き



していただけることを願いながら、これからもこのような活動をしていきたいと再確認をして、散会となりました。ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。

編集後記

編集委員 大平 康市

7月下旬から8月上旬は夏本番、猛烈な暑さと戦いました。ところがお盆過ぎの8月17日を境に天気は急変、気温が下がり野菜の高騰等影響は大きく、稲刈りも遅れました。今、収穫の真最中ですが作柄はほぼ前年並みと聞いています。

また、9月10日に発生した台風18号による暴雨は県内にも大きな被害をもたらしました。私たちは那須水害を経験していますが、あの時よりも被害は甚大で大きな災害となりました。警報が発令されたときのような行動をとれば良いのか、テレビニュースや新聞は「50年に一度の大雨。重大な危険が差し迫った異常事態」と判断し、「ただちに命を守る行動をとるように」と呼びかけましたが、これに対しどれだけ避難の行動を取れたか疑問が残りました。

「自分の命は自分が守る」、当然のことですが自分を守ってこそ次の行動が、何かができるのではと思いました。

編集委員長 大島 芳子
編集委員 高柳 文浩

大平 康市
松浦 一雄
摩庭 令子
池澤 敬子